

2022(R4)年度 講師派遣のご案内

各地の人権研修等に講師を派遣いたします

研修スタイル

	研修スタイル	人数	対象	時間	条件	オプション
1	講演 ・講師の話を聴いて学ぶ研修。 ・話し合い活動や演習を盛り込むことも可能。	制限なし	誰でも	30~120分	講師交通費の負担	研修効果を引き上げる 「3ステップ研修」※
2	ワークショップ ・意見交換や作業協力を通して共に学び合う研修。 ▶体験的参加型学習	6~40人		90~180分		
3	ふらっとカフェ ・少人数で1つのテーマについてゆっくりじっくり対話し、学び深める研修。 ▶対話型人権学習	4~8人		90~120分		
4	ゼミナール ・人権問題の深い理解に役立つ理論等や啓発の基本技術を知り、その活かし方を探る「情報提供+討議」型の研修。	4~20人		90~180分		

※3ステップ研修

- ・「打合せ」⇒「研修」⇒「ふりかえり」の3ステップで進め、研修で学んだことの定着や発展をめざします。
- ・参加者が同じ職場・地域・団体などに属している場合におすすめです。

留意点

- 講師派遣の内諾後、講師派遣依頼文書を作成しご提出ください。必要であれば依頼文書の「ひな形」をお渡しします。
- 研修で使用するレジュメや資料等の印刷、研修に必要な機器や備品の準備をお願いします。
- 研修記録（撮影動画、配付資料等）の無断流用は堅くお断りします。また、研修の動画撮影や、配付資料等の当該研修以外への利用をお考えの場合は、当センターに予めご相談ください（研修当日のお申し出はお断りすることがあります）。
- 新型コロナウイルス感染症の関係で、研修時の感染防止対策について相談させていただく場合があります。感染状況によっては、すでにお受けしている研修につきましても、派遣を中止させていただくことがあります。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、当面の間、鳥取県外への出張はいたしません。

裏面に研修テーマ例を掲載しています

研修テーマ例

1 講演 / 2 ワークショップ(WS) 開催者と協議して決定します。

近年行ったテーマ例	講演	WS
私たちの暮らしと人権	○	○
災害から学ぶ人権	○	
人権尊重のコミュニケーション	○	
決めつけとジェンダー問題	○	
多様な性について考える	○	
超高齢社会の人権尊重	○	
新型コロナウイルスと人権問題	○	
共に生きる社会をめざしてー外国人の人権ー	○	
インターネット（SNS）と人権	○	
今後の部落問題学習をどう展開するか	○	
ハラスメントと人権	○	○
子どもの人権、わたしの人権、どちらも大切		○
子どもの自尊感情を高めるためには		○
差別・偏見につながる『うわさ』のしくみ		○
障がいと人権	○	○
アイヌの人々の人権	○	

3 ふらっとカフェ 開催者と協議して決定します。

過去に取り上げたテーマ例

- ❖ 「差別とは何か？」 ❖ 「笑いと差別の境界線」 ❖ 「女子力とは？」
- ❖ 「仲間とは？」 ❖ 「『友だち』って何だろう？」 ❖ 「不安」
- ❖ 「私らしさ!？」 ❖ 「人の肩書きが与える影響は？」 ❖ 「愛国心って何だ？」
- ❖ 「幸せの定義」 ❖ 「愛は地球を救えるか？」 ❖ 「部落問題が自分ごとになるとは？」

4 ゼミナール 以下の中からお選びください。

選 択 テ ー マ	
①	改めて、人権って何だろう？ー憲法と世界人権宣言を中心にー
②	人権問題はなぜ起こる？ー社会的多数者/少数者の関係から見てみようー
③	フツーの人が無意識に行う日常的な差別とは？ーマイクロアグレッションー
④	取扱注意のココロのしくみー差別にかり立てる社会心理とバイアスあれこれー
⑤	自他を大切に作るコミュニケーションーアサーション（非攻撃的自己表現）ー
⑥	自己肯定感のギモンー何がそんなに大切？どう育む？人権問題との関係は？ー
⑦	ようこそ“ふらっとカフェ”へ！ーゆるくて深い対話型人権学習の可能性ー〔紹介と実践〕
⑧	講演力ー効果的なスピーチとスライド使用の基本ー〔実技練習〕

※①～⑤は、「講演」として実施することも可能です。

申込み・お問い合わせ先

公益社団法人鳥取県人権文化センター（担当 岡/尾崎）

電話) 0857-21-1712 E-mail) t-jinken@tottori-jinken.org